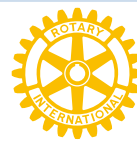


国際ロータリー第2660地区

# 吹田西ロータリークラブ

ウィークリー  
2016-2017

Rotary



■創立 1980.6.12

事務所 ☎564-0051 吹田市豊津町9番40号 カリーノ江坂1階  
☎(06) 6338-0832 FAX (06) 6338-0020  
URL <http://www.suita-west-rc.org>

例会場 新大阪江坂東急REIホテル  
☎564-0051 吹田市豊津町9番6号 ☎(06) 6338-0109

例会日 毎月曜日 18:00~19:00

役員 会長：井伊圭一郎 幹事：長屋 興 会報委員長：木田 昌宏



人類に奉仕するロータリー

4つのテスト ●真実かどうか ●みんなに公平か ●好意と友情を深めるか ●みんなのためになるかどうか

1637回 例会 平成28年11月14日  
卓話  
ロータリー財団について  
ロータリー財団委員会 堀 豊 委員長

今週の歌

「村祭」

一、 村の鎮守の神さまの 今日 はめでたいお祭日  
二、 年も豊作満作で 村は総出の大まつり  
ど ん ど ん ひ や ら ら ど ん ひ や ら ら ど ん ど ん ひ や ら ら ど ん ひ や ら ら  
ど ん ど ん ひ や ら ら ど ん ひ や ら ら ど ん ど ん ひ や ら ら ど ん ひ や ら ら  
朝から聞こえる笛たいこ 夜までにぎわう宮の森

先週内容

会長挨拶

井伊会長



皆様今晚は 朝夕は薄ら寒い今日この頃でございます。先週は移動家族例会が土曜日に行なわれましたので少し変則の日程でございました。本日のお客様は米山奨学生のテイカイランさんです。後ほど奨学金をお渡し致します。そして本日は米山奨学委員会の卓話でございます。西村米山記念奨学会委員長、テイカイランさんよろしくお願い致します。

11月1日(火)のクリーンデー、当クラブの主催でございました。沢山ご出席頂き、大変ご苦勞様でした。後ほど社会奉仕委員会よりご報告がございませう。

本日皆様にご報告があります。事務局の山口さんが家庭の事情により12月末日をもって退職されます。吹田西 RC の3代目の事務局員として勤められたのが30年前でございます。何もかも事

ロータリー財団月間

次週 1638回 例会予告 平成28年11月28日

卓話 「母校・EIJO 野球部への恩返し」  
佐賀県立佐賀西高等学校 栄城野球部コーチ  
プロ野球 元阪神タイガース 永尾 泰憲 様  
石崎 克弘会員ゲスト

事務局に頼っていましたが、これから後任の方に引き継ぎを行ないますが、慣れるまで会員の皆様にはご迷惑がかかることがあるかも知りませうがよろしくお願ひします。12月は後任の方と2人で事務局は動きませう。

11月のロータリー特別月間はロータリー財団月間でございませう。

本日はロータリー財団の歴史と国際大会について少しお話をさせていただきます。

1917年当時の会長アーチ・クランプが「世界で良い事をする」ための基金を提案した事をきっかけに26ドル50セントの寄付からスタートした財団。

今では世界で何百万という人々を支援するグローバルな財団に成長致しました。100年前のアトランタでのロータリー大会です。100年が経過しロータリー財団誕生の地であるこの街で再びロータリー国際大会が開かれます。世界中のロータリアンが財団100周年を祝う今大会は一生に一度の機会です。

会員同士の親睦を促進しロータリーの魅力を感じてもらふことはロータリーのリーダーの大切な役割の1つです。

ご自身が出席されない場合にもロータリーの醍醐味が味わえる国際大会への出席をクラブや地区に呼びかけて下さる事を提唱されていませう。

是非、歴史に残る国際大会へご参加ください。日程は2017年6月10日~14日です。

これで会長挨拶と致します。ありがとうございました。

## ゲスト紹介

親睦活動委員 橋本(幸) 会員

米山奨学生 鄭 海蘭 様

## 幹事報告

長屋幹事

1. 米山功労者の認証が届いております。新井会員 8 回、澤井会員 4 回、紙谷会員 2 回、堀会員、瀬川会員、佐藤会員、木下会員、矢倉会員はいずれも 1 回目です。
2. 月初です。お誕生日のお祝いがございます。



## 出席報告

出席委員会 佐藤委員長

- 会員数 49名 ● 来客 1名
- 出席会員数 41名 ● 本日の出席率 91.11%
- 10月17日の出席率(メーキャップを含む)100%

ご結婚の御祝 11月			
昭和 39 年	11 月 3 日	田中慶	会員ご夫妻
昭和 52 年	11 月 8 日	井伊	会員ご夫妻
昭和 53 年	11 月 12 日	青木建	会員ご夫妻
昭和 61 年	11 月 16 日	矢倉	会員ご夫妻
昭和 51 年	11 月 23 日	由上	会員ご夫妻
昭和 53 年	11 月 23 日	坂口	会員ご夫妻
昭和 38 年	11 月 24 日	仲辻	会員ご夫妻
昭和 47 年	11 月 26 日	石崎	会員ご夫妻 以上 8 組



## ロータリー財団委員会 澤井副委員長

本日、小川会員、橋本徹也会員より特別寄付を頂きました。ご協力ありがとうございました。

## 米山記念奨学会委員会 西村委員長

本日、橋本芳信会員より特別寄付を頂きました。ご協力ありがとうございました。

## 社会奉仕委員会 清水理事

・クリーンデー

11月1日(火)当クラブ主催のクリーンデーが開催され、当クラブからは井伊会長、青木会員、河邊会員、榎原会員、高木会員、堀会員、水谷会員、橋本芳信会員、阿部会員、辻会員、坂本一成会員、荻田会員、清水大吾の13名並びにアバルトマン(株)様から12名、新大阪江坂東急 REI ホテル様から1名、合計26名参加して頂きました。皆様ご協力ありがとうございました。

## 国際奉仕委員会・社会奉仕委員会

紙谷理事・清水理事

・炉辺談話

社会奉仕委員会、国際奉仕委員会と合同の炉辺談話を開催致します。回覧をまわしますので、多くのご参加をお待ちしております。

日時：11月18日(金) 18:30~

会場：旬魚采 磯一 江坂店 離れ

吹田市豊津町 15-17 ライオンズマンション  
第6江坂 1F

## 親睦活動委員会 橋本芳信委員長

・10月29日(土) 秋の家族移動例会

市立吹田サッカースタジアムにてガンバ大阪の試合観戦 無事何事もなく開催されました。

出席会員 25名 家族 10名 計 35名の出席でした。

今回土曜日の開催となり、時間調整できなかった会員の皆さんには本当に申し訳ございませんでした。ガンバ大阪も勝ち、新しいスタジアム共々楽しんでいただけたと思います。

・クリスマス家族会

平成 28 年 12 月 19 日(月)

場所：東急 REI ホテル

例会開会は 17 時 45 分からです。

## ニコニコ箱 瀬川 S A A

- 榎原会員：10月30日に次男が結婚しました。
- 西村会員：本日米山の卓話です。よろしくお願ひします。
- 新井会員：鈴木さん、尾家さん ありがとう御座いました

- 郷上会員：いつもお世話になります。
- 清水良会員：先日の家族例会で息子がサインボールをいただきありがとうございました。
- 辻 会員：大阪マラソン無事に終了しました。橋本さんのご子息お疲れ様！
- 橋本幸会員：大阪マラソン息子が無事完走しました。辻会員お世話になりました。

本日のニコニコ箱 28,000 円  
 累計のニコニコ箱 471,000 円

## 卓話

### 【米山記念奨学会について】

米山記念奨学会 西村元秀 委員長  
 米山奨学生 (大阪大学院生) 鄭海蘭



米山記念奨学会は日本に在留している外国人留学生に対し、日本全国のロータリアンの寄付金を財源として奨学金を支給して支援する民間の奨学団体です。年間 700 人以上の留学生を受け入れており国内では民間最大級の国際奨学事業です。

財源は、全国のロータリアンからの寄付金であり、2015 年度は 1,577 百万円の寄付金収入があり奨学事業費に 1,257 百万円が出費されています。全 34 地区から選出された理事会により運営され、今年度は全国 730 名、2660 地区では 43 名の留学生を受け入れ、来年度は全国 780 名、2660 地区 48 名を予定しています。

日本のロータリアンとの交流によって、将来、日本と世界とを結ぶ架け橋となる人材を育てています。その歴史をたどると、1952 年に東京ロータリークラブが日本のロータリーの創始者と呼ばれる米山梅吉氏の功績を記念して始めた国際奨学事業であり、国内全ロータリー地区の合同事業に

発展していきました。当時は戦後の復興の道を歩み始めた時期であり、二度と戦争の悲劇を繰り返さないために世界の国々との人物交流を深める必要性を多くの人々が感じていた時代でした。その後、ロータリー米山記念奨学事業は「留学生が平和を求める日本人と出会い信頼関係を築く」ことを目的とし、「日本のロータリーに最もふさわしい国際奉仕事業」と高く評価され全国に拡大、1967 年 7 月 1 日に財団法人ロータリー米山記念奨学会が設立されました。よって 2017 年 7 月 1 日で財団設立 50 周年を迎えることになります。

「民間外交として世界に平和の種子を蒔く」という設立趣旨の下での留学生への支援は、未来に向かって平和の架け橋をかけ、尊い奉仕活動となっています。また、奨学生一人一人に世話クラブ、カウンセラーが付き、奨学生との交流を深め、日本での生活が心豊かなものになるように配慮されています。

この「世話クラブ・カウンセラー制度」は他の奨学金制度に見られない当奨学会の大きな特徴です。奨学生はロータリアンとの交流を通じて、奉仕の精神に触れ、自らの精神を磨いて、人生観・職業観を高めることを目的としています。昨年の米山奨学生全員へのアンケート結果ではその 85% が「将来、ロータリアンになりたい」、そして 15% が「今は力不足だがいずれはになりたい」と回答しています。また奨学生の OB で構成される米山学友会が日本全国、世界 8 カ国で展開されています。すでに設立以来 2 万人近い奨学生が社会で活躍中で後輩にエールを送る活動をしています。今月 (10 月) は米山月間でもあり、こうした活動を支えていただけるよう引き続きロータリアンの皆様の暖かいご支援をお願い申し上げます。

日本ロータリークラブ創始者 米山梅吉

米山梅吉は、慶応 4 年 (1868 年) 2 月 4 日、和田家の三男として江戸の芝で生まれ、この年の 9 月から明治元年になります。ロータリー創始者ポール・ハリスも同年 4 月 19 日生まれの同い年です。

5 歳の時父が急死、さらに廢離置県のため江戸に住むことができなくなり、静岡の三島神社の宮

司である母の実家に身を寄せます。尋常小学校5年生の時、土地の旧家で名士の米山家から、神童の誉れ高い梅吉を「養子にほしい」と申し込まれます。米山家は、男の子に恵まれず娘春子と結婚させ、家をつがせようというのです。

家を継いでいる教師の兄の薦めもあり、米山家の養子となった梅吉は一心に勉強。弁が立つ上、文才もあり雑誌に投稿。度々採用され一番が夏目金之助、後の激石。二番が梅吉と、書くことに自信のある梅吉は、新聞記者に憧れ東京で勉強したいと希望するも許してもらえず、ならばと無断で家を飛び出し東京へ、中学の先輩のところへ転がり込んだ。米山家では騒ぎになったが、その後、行方がわかり何とかおさまります。そこで当時有名な漢学者で、のちに衆議院議員となる土井光華(こうか)の書生となり、光華塾生として学ぼうと、世界に目を向け、「アメリカの大学へ行って勉強したい」と、青山の東京英和学校、現在の青山学院に入学。アメリカ人に英会話を学びます。そんな折、養父の米山藤三郎が、株式取引のため娘春子連れて東京へ、「父上、此の度は申し訳ありませんでした。私はなんとしてもアメリカへ行って勉強したいです。帰ったら春子さんと結婚します。どうかアメリカへ行かせて下さい。まだ入籍が済んでいません。籍を入れて下さい」

20歳の時、正式に入籍しアメリカへ。日本人の経営するキリスト教会福音会へ。ここで洗礼を受け、賄料が1日25セント。援助を断っているので働かなければいけない。スクールボーイという制度があり、1週3ドルの皿洗いをしながら、オハイオ州ウェスレアン大学を中心に、その他の大学で政治学、法学を勉強。8年間の留学を終え帰国し春子さんと結婚、梅吉29歳、春子23歳。

梅吉は留学中「提督ペルリ」を書き上げ、友人望月小太郎から勝海舟を紹介してもらい、ペルリの本の題字を書いてもらいます。梅吉は広い視野を持った海舟を敬愛しておりました。新聞記者になったものの収入は少なく、土井光華塾の先輩で、井上馨の娘婿になっていた藤田四郎を頼ります。井上馨は新政府の要職にあり、三井関連会社の経営に大きな発言力を持っていた井上は、娘婿に頼まれた梅吉を、三井物産社長益田孝と、三井銀行中上川彦次郎に紹介。最高の後ろ盾です。

「よし、一生懸命銀行の仕事に取り組み、銀行というものを研究して専門家になろう」30歳という遅いスタートの上、文筆で世に出たいと思っていたからビジネスや計数に弱く、貸借対照表は解らない。しかし優秀な男が腰を据えて励むんですから、事務的な仕事はたちまちマスター。

8年間の留学経験から海外の知識、見識、優れた文章力、弁も立つ。どんどん頭角を現していき、入社9ヶ月で神戸支店長次席に。いよいよこれより銀行マンとして大活躍、社会奉仕の理念がロータリークラブ創立へと立ち上がるのでございます。(全電連月刊誌ニュー・ウェーブ 11月号 一龍斎貞花氏の記事から引用、文責 西村)



米山奨学生(大阪大学院生) 鄭海蘭  
論文「企業のガバナンス要因が収益性に与える影響」

皆さん、こんばんは。本日は、自分が現在大学院で研究している内容について、ご報告させていただきます。論文テーマは：「企業のガバナンス要因が収益性に与える影響」です。

コーポレート・ガバナンスは、日本では「企業統治」と訳されていることも多く、誰が企業経営を支配するのか、CEO(最高責任幹部)や役員会の役割に対する企業のコントロールの仕組み、株主と経営者のリスクとリターンの配分はどうなっているのかという企業経営をめぐる一連の合意事項です。コーポレート・ガバナンス体制は、アングロサクソン型(アメリカ型)、ドイツ型、日本型と様々な形で資本主義を生み出していきます。

論文では、主に取締役会の社外取締役というガバナンス要因に重点を置いて分析します。それに

加えて、株式相互持合と、外国人持株などのガバナンス要因を取り上げます。こちらのグラフは、東京証券取引所が 2011 年に発表した投資部門別株式保有比率の図表になりますが、茶色の線が外国人持株比率であって、変動が最も激しい部門になります。近年のデータをみると、外国人持株比率は 25%を明らかに超えているのが現状であります。企業の収益性を表す指標ですが、企業価値を表すトービンの Q を収益性の代理変数として採用します。

論文の研究目的は、株式相互持合、社外取締役比率や外国人持株比率といったガバナンス要因に着目し、それらの企業の収益性に与える影響について、サンプル企業のデータを使って、実証分析を行うことによって、コーポレート・ガバナンスへの取組を強化した企業が、企業の収益力を高め、経済の成長力強化に寄与していることを示していきたいです。

まずは、これから検証する三つの仮説を立てます。

仮説 1：

「株式相互持合比率は企業の収益性に負の影響を与える。」

企業間での株式相互持合は「もの言わぬ」友好的な株主を増大させるので、株主による経営者へのモニタリング機能が低下すると考えられます。そのため、相互保有比率の高い企業ほど、コーポレート・ガバナンスが動かなくなっている可能性があるでしょう。株式相互持合の程度が高い企業については株主からのコーポレート・ガバナンスは弱くなり、企業のパフォーマンスとはマイナスの関係が考えられることから、仮説 1 を立てます。

それから、

仮説 2：

「社外取締役比率は企業の収益性に正の影響を与える。」

取締役会は、企業の経営上の重要事項を決定するとともに、経営の監視を行う組織であります。日本企業の現状は、取締役会のメンバーで、企業の経営に関する情報を保有している人物のほとんどは独立性の低い企業の内部者であり、逆に、経営者と利害関係のない独立性の高い人物は経営に関して保有している情報が少ないのが現実であり



ます。社外取締役に求められているものとしては、社内的視野に留まらない合理的な経営判断を行うことによって、企業のパフォーマンスを高める効果を持つことだと考えられます。従って、仮説 2 を立てます。

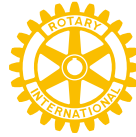
そして、

仮説 3：

「外国人持株比率は企業の収益性に正の影響を与える。」

近年外国人投資家の比率が上昇しています。先ほどのグラフでも示しているように、現在日本の上場企業の 1/4 以上が外国人投資家によって保有されています。しかも、その割合は年々増加傾向にあります。外国人投資家の明確な意思表示は、日本企業の経営陣に外国人投資家の存在を強く意識させるようになりました。外国人投資家は経営参加への意思が強く、積極的に経営関与する姿勢を見せているとも言えます。このような直接的なコーポレート・ガバナンスへの関与の実態が、企業パフォーマンスに正の影響を与えると考えられます。従って、仮説 3 を立てます。

論文で検証する 3 つの仮説を立ててから、データ収集を行いました。2009 年から 2011 年の 3 年間における東京証券取引所一部上場企業のデータを利用します。データに欠損値などの不備がある観測値はサンプルから除外して操作の結果、サンプルのサイズは 4,536 となりました。さらに、論文の結論は一般性を持たないきゃいけないので、日経 Needs に収録されているすべての企業を対象として、頑健性テストを行いました。操作の結果、サンプルのサイズは 10,005 社になりました。



それから、論文で採用する変数になるんですが、被説明変数は、収益性を表す指標、トービンの Q を採用し、説明変数のガバナンス要因としては、株式相互持合比率、社外取締役比率、外国人持株比率を採用します。また、説明変数のコントロール変数部分では、ROE、ROA、負債比率、売上高成長率、ストックオプションなどを採用し、経済モデルを使って、分析を行います。

ガバナンス変数とコントロール変数が、何が違うのかといいますと、ガバナンス変数は検証する主要変数で、コントロール変数は、サポートする変数だと考えていただければと思います。

三つの仮説を立て、データの収集が終わってから、一番大事な実証分析のステップに入ります。表 1 記述統計量と表 2 ピアソン相関係数は、本研究で変数として取り上げるすべてのデータをまとめた資料であります。統計ソフトを使って得たのですが、この部分の説明は省略させていただきまして、結果のみを報告させていただきます。これからは、表 3 表 4 表 5 が、実証分析の結果になります。

表 3 は、仮説 1 「株式相互持合比率は企業の収益性に負の影響を与える。」の検証結果であります。モデル (1) では、株式相互持合比率が 1%水準で有意に負であることが明らかになっています。

モデル (2)、(3) においても、同じく株式相互持合比率が 1%水準で有意に負であることが明らかになっています。

従って、仮説 1 「株式相互持合比率は企業の収益性に負の影響を与える。」は支持されたと言えます。表 4 も同じ経済モデル、同じ統計ソフトで得た検証結果になります。

表 5 も同じ経済モデル、同じ統計ソフトで得た検証結果になります。

従って、企業のガバナンス要因と企業パフォーマンスの間に相関があるとする先行研究を前提にしたうえで、株式相互持合、社外取締役の存在や

外国人株主の存在といったガバナンス要因に着目し、それらの企業の収益性に与える影響について実証分析を行った結果、自分が立てた三つの仮説ともに支持されました。

以上の分析から、企業のガバナンス要因を企業の収益性に結びつけることが可能であると言えます。さらに、コーポレート・ガバナンスへの取組を強化した企業が、企業の収益力を高め、経済の成長力強化に寄与していることを示しています。

しかし、論文においては、なお次のような問題点が存在します。

第一に、収集できるデータに限界があるため、分析したデータは、2009-2011 年の 3 年間のデータについてのみであること。第二に、分析対象としたガバナンス変数は株式相互持合比率、社外取締役比率、外国人持株比率の三つのみであること。そのため、本稿で着目していないガバナンス要因が企業の収益性に大きな影響を与えている可能性も否定しえないと思います。

今後は、他のガバナンス要因が企業パフォーマンスにもたらす変化など、多面的に企業のガバナンス要因を分析することが、残された課題であると思います。論文は、ほぼ書き終わっていますが、残された課題に関しても、これからもどんどん研究を進めていきたいと思っています。

